令和5年度調布市文化財保護審議会(7月~9月分)について

第3回審議会

- 1 日時 令和5年7月26日(水) 午後2時~午後4時
- 2 場所 郷土博物館 会議室
- 3 出席委員数 6人
- 4 審議内容
- (1) 深大寺元三大師堂の改修工事計画案について

東京都の補助事業として行われる深大寺元三大師堂の改修工事について、計画案の説明をしました。今年度は大師堂裏手の擁壁工事を行い、来年度に大師堂の改修を行う予定で、大師堂の改修に合わせて向拝天井に描かれた市指定有形文化財「河鍋暁斎の天井画(竜図)」の修復事業が計画されています。天井画の修復事業については、市文化財保存事業費補助金事業として行われる予定で、修復計画の素案ができた段階で、審議会として内容の確認を行います。

(2) 「飛田給薬師堂境内行人塚」文化財説明板について

「飛田給薬師堂境内行人塚」(写真①)の文化財説明板の文案の確認を行いました。委員からは、「即身成仏」「大願成就」などの専門用語の使い方が適切かどうか、確認の質問がありました。また、行人塚に葬られている松前意仙の没年について元禄14年(1701)と元禄15年の2つの説があることから、過去帳などの原資料を確認し、記述の内容を精査する必要があるとの指摘を受けました。調査を進め、次回以降に継続審議することになりました。

会議終了後、郷土博物館で開催されている企画展「中川平一作品展」の展示見学を行いました。

第4回審議会

1 日時 令和5年8月30日(水) 午後2時~午後4時

- 2 場所 調布市文化会館たづくり 1103学習室
- 3 出席委員数 5人
- 4 審議内容
- (1) 「飛田給薬師堂境内行人塚」文化財説明板について

前回審議会で指摘された事項について、現時点で明らかになったことの説明をしました。松前意仙の没年については、行人塚に建てられた碑には元禄14年と刻まれ、西光寺過去帳では元禄15年と記されており、どちらが正確かはまだ判断できませんでした。文案の内容については、更に調査を進めることになりました。

(2) 「染地遺跡第128地点出土小銅鐸」の文化財指定について

今年度の市文化財指定候補である「染地遺跡第128地点出土小銅鐸」(写真②)について、遺物としての性格やその時代背景などについて検討を行いました。また、関連資料として、小銅鐸とほぼ同時期と考えられる土器の確認を行いました。次回以降、指定理由説明書の作成を行います。



【写真① 飛田給薬師堂境内行人塚】



【写真② 染地遺跡第128地点出土小銅鐸】